

白浜レスキューネットワーク通信 3月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

3月1日～3月31日

電話件数 154 件

メール相談 5 人

保護件数 2 件(男性 1 名、女性 1 名)

帰宅 1 件(女性 1 名)

○四国から高校中退した 18 歳の男の子を受け入れてくれないかと相談を受け、何度も電話での相談受ける中で、白浜に来ることになった。しかし、数日間滞在するも、共同生活に耐えられず、突然、四国へ帰ってしまった。

生活自立支援活動

3月1日～3月31日

滞在者数 16 人(男性 13 人、女性 3 人)

自主退所 1 件(男性 1 名)

○コンビニとまちなかキッチンで働く 20 代女性は、コンビニとまちなかキッチンの仕事をうまく両立させている。午後からの時間で昼寝をしたりして調整しているようだ。

○デイサービスに週 3 回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている 80 歳の男性は、古畑の結婚式に行くことはできなかったが、感慨深い思いを本人に伝えていた。

○作業所に通っている男性は、4 月に、アパートへ移ることが決まった。

○コンビニとまちなかキッチンで働いている 30 代男性は、以前働いていたところから、人手が欲しいからうちで働かないかと声がかかっていたが、話し合いの結果、白浜に残って頑張ることになった。一人でやっていくことに不安があったことと、行ってみたら誘わっている条件と話が違ふようなことになる可能性もあったからだ。そんなに夢が大きい男性は、六畳

一間の自立した生活を目指している。

○お菓子屋さんに仕事に行っている男性は、4 月で返済を終えられるところまで来た。任されることも増えてきたので、このままこの会社に働き続けていけたらと考えている。

○糖尿病を患っている男性は、周りの人へのやさしさがいつも見て取れる。本当は弁当屋よりも介護など福祉職が向いているのではないかと思う。

○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と 3 つ掛け持ちしている男性は、コンスタントにまじめに働いている。

○20 代の男性は、ある女性とお付き合いしている。結婚など、将来をどう考えていくか。まちなかキッチンに残っているのは、敬遠的なことを学びたいと思っているから。レベルアップをしてもらおう。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、まだ、掛け持ちを始めるところまで進んでいない。自己実現への意欲に欠けるところが見受けられる。

○言葉に気を付けている男性は、調子にならなければ、言葉で失敗することも減ってきた。ただ、自分でしっかり考えてから話すことは苦手で、報告させても長くなることを改善させたい。

○70 代の女性は、共有スペースのお花の手入れを丁寧してくれている。おかげで非常にきれいだ。白浜に来て一年が過ぎた。



○中国人の女性は、念願のカナダの娘のところに行くことができるようになり出発した。

○4月から共同生活に加わっている男性は、報告、連絡、相談を訓練中。

○2月から共同生活に加わった男性は、山の畑で農作業をしている。



○先月から加わった女性は、まちなかキッチンの仕込みの方を手伝うことを始めた。何かをしているときの方が気持ちが楽なのだそう。中国人の女性が入っていた部屋が空いたため、そちらに移った。

○他の NPO から移ってきた男性は、人とかわりを持つことが苦手で、いつも一人で暗がりにいることが多い。貯金がある間は、私たちのお世話を極力なりたくないという気持ちがあり、食事などはこちらで用意したものを食べない状態。全部使いきるまでは、このままの状態が続くかもしれない。

知的な障害があり、理解力が弱い。そのために、これまでも人との関わりで理解されずに拒絶されてきたようだ。

作業所やグループホームで生活する方がいいのではないかと行政とも相談するが、受け入れ先が今のところない。様子を見ながら受け入れていくことに。

○3月に入ってすぐに2月末に保護した男性が親族の家を頼って退所した。

自殺予防活動

・フードバンク&フードドライブ
2人の男性が利用した。

・放課後クラブ・コペルくんとコペルくん+
4月からのコペルくんの活動を休止して寮を運営していく方針で動き出している。

その中で、今まで来ていた子供たちの新たな

受け皿としてCS(教会学校)コペルくんとして運営することにした。

・夜コペ

今まで来ていた子どもたちの受験が終わり、無事に皆、高校生になりました。感謝!

・相談電話

6日、13日、20日、27日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・少年少女漂流隊



バームクーヘン作り

・はじめ人間自然塾



平草原、桜祭りに行こう
その際の昼食作り。

・本の出版とドキュメンタリー映画



www.bokushitogake.com

1月19日～4月26日、ポレポレ東中野にて上映中。
大阪、京都、名古屋、福岡、横浜、神戸、田端

でも上映されることになった。
本はアマゾンで購入できます。



映画「曙光」
私たちの活動をモデルに阪口監督がフィクシ
ョンの映画を製作され、全国で公開されていま
す。

東京新聞の夕刊で紹介されました。



読売新聞で紹介されました。

・ご報告

・8年間、当NPOスタッフとして働いてきた古畑
普さんが、3月21日に結婚した。



登戸エクレシア教会の青木先生が、私たちとの
活動交流を記事にしてくださいました。

